

多摩地域の変容と地域資料の保存・活用

— 地域持続のために —

プログラム

【主旨説明】

多摩の地域持続と地域資料

宮間純一（中央大学文学部准教授）

【報告】

地域資料の可能性は無限大

— デジタルアーカイブで地域活性 —

宮坂勝利（瑞穂町企画部企画課長・前瑞穂町図書館長）

地域資料としての埋蔵文化財

合田恵美子（東京都埋蔵文化財センター副主任調査研究員）

自治体史編纂と地域資料の保存・活用

鈴木直樹（日本学術振興会特別研究員 PD）

【コメント】

小山憲司（中央大学文学部教授）

小林謙一（中央大学文学部教授）

本シンポジウムでは、図書館、埋蔵文化財、アーカイブズ
の領域を横断して、多摩地域における地域持続と地域資料
をめぐる現状の到達点と課題を共有・議論し、今後を展望
する。人口減少・自然災害を背景に多摩地域においても地域資料
の保存・活用はまったなしの課題となっており、多様な活
動が展開している。図書館、文化財行政、自治体史編纂の
第一線で実務に取り組んできた方々を招き、具体的な問題
から活発な議論を行いたい。

2020

11.14土

13:00～17:00

オンライン開催

事前申し込み制

＜開催方法＞

オンライン会議システム Webex

＜参加費＞ 無料

＜申し込み方法＞

参加を希望される方は下記アドレスを
参事までメールでお名前・ご所属の詳
細をお送りください。参加方法等
をお知らせいたします。

j-miyama@tamacc.chuo-u.ac.jp

（中央大学文学部宮間純一あて）